



らせん状のくいに
使う岡山農栄社の
電動式くい打ち機

電動式くい打ち機開発

らせん状向け
岡山農栄社 軽く扱いやすく

農業機械メーカーの岡山農栄社（岡山市中区雄町）は、簡易ビニールハウスの設置などに使うらせん状のくい向けに電動式くい打ち機を開発した。一般的なエンジン式より軽く扱いやすいのが特長。

農機具販売店などを通じて扱う。

くい打ち機をくいにかぶせてハンドルに取り付けたレバーを握ると、モーターが回ってくいが地中に埋まって

いく仕組み。スイッチで回転方向を切り替えて抜くこともできる。重量は8・5^キ。付属のバッテリー1個と充電器を合わせて、小売標準価格は23万円（税別）。

らせん状のくいは黄ニラや小ネギなどの生産者が、ビニールハウスを地面に固定する際に使っている。ガソリンで動かすエンジン式は重量が10^キ前後あり、同社は「軽量化を

求める顧客の要望で企画した。作業の負担軽減に役立てば」としている。（山本友志）